

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	発達障害者サポート事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	発達障がい者については、これまで、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備を図ってきたが、人材育成の観点から、発達障害者サポーター養成講座、ペアレントトレーニング等を加え、事業拡充を図っています				
	【事業】・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営 ・個別支援計画の作成 ・発達障がいの理解のための啓発活動及び研修等の実施 ・発達障害者サポーター養成講座の実施				
6年度概要	社会福祉法人に委託して実施 5452千円×1か所/年 【事業実施内容】 ・発達障害支援コーディネーターの配置による各種相談 ・サポート委員会の運営				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

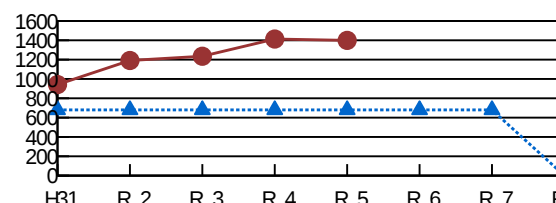
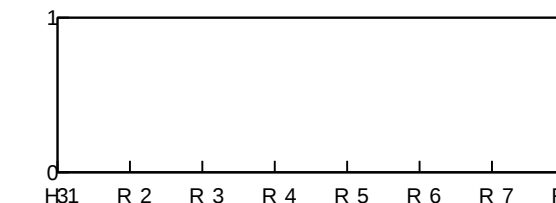
【事業の目的】

対象（何を）	発達障がい児者
意図（どのような状態にしたいか）	乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応する一貫した支援体制の整備をさらに図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
各種相談受付件数	件	464	396	27	650	650
研修等開催回数	回	5	5	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	障害児通所サービス受給者数	人	目標値	680	680	680	680	680
			実績値	1,235	1,413	1,399		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 205.7%
	発達障がい児の早期発見、早期支援に伴い、障害児通所サービス受給者数が見込みを大きく上回った。							35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,966	7,953	9,613	6,957
（事業費）	[千円]	6,456	6,456	8,108	5,452
（職員人件費）	[千円]	1,510	1,497	1,505	1,505

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
研修会については、会場受講だけでなくオンライン受講やその他の方法により受講できるようにしたことにより、コロナ禍ではあったが受講できる方々の数を増やすことができた。 障害児通所サービス受給者数についても、高止まりしている状況であり、当事者への支援と周囲への理解を広げる活動を継続していきたい。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
発達障がい児者の早期発見、早期支援のため、今後も事業を継続する。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	補装具費・日常生活用具支給等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者（児）の自立した生活や社会参加を促進するため、障がいにより失われた身体部位や損なわれた身体機能を代償・補完するための補装具を支給します。				
6年度概要	補装具支給 生活サポート 日常生活用具 訪問入浴サービス 紙おむつの支給				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務有）

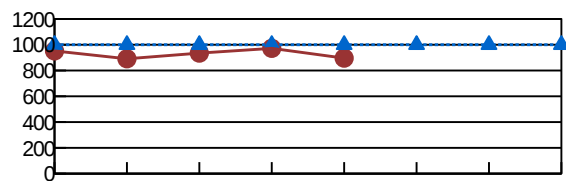
【事業の目的】

対象（何を）	日常生活用具及び補装具を必要とする身体障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	失われた身体部位、損なわれた身体機能を代償、補完、及び日常生活の利便性を向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
補装具支給申請受付人数	人	936	980	924	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	補装具給付件数		件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	935	972	896				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									（達成度） 89.6%
	給付件数 1,000 件に対し、896 件であり、目標を下回った。									31点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
				目標値						
			実績値							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	214,104	221,702	257,879	257,443
（事業費）	〔円〕	210,329	217,960	236,803	236,367
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	21,076	21,076

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
用具・装具の助成は日常生活を営む上で不可欠な事業である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
日常生活用具に係る選定や耐用年数の設定等について、調査及び研究を行い、市民の要望及び時代に合った制度に整えていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者相談支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者及びその家族等の不安を解消し、生活の利便を図るため、福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援を行う相談支援体制を整備します。 ・障害者相談員設置事業 ・障害者相談支援事業 ・相談支援・充実強化事業				
6年度概要	障害者相談員の設置 障害者相談支援事業の委託（身体：2箇所、知的：2箇所、精神：7箇所） 高松圏域自立支援協議会への委託				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

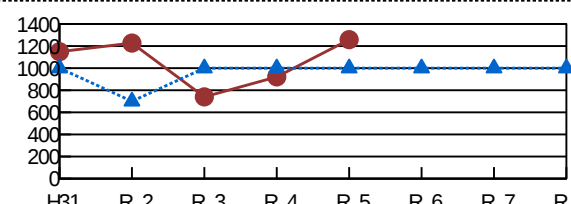
【事業の目的】

対象（何を）	生活の支援を必要とする身体障害者、知的障害者、精神障害者及びこれらの家族で、市内に住所を有する者。
意図（どのような状態にしたいか）	福祉サービスの手続きやその他の困りごとに関して相談員が相談に乗り、その解決に向けて支援することにより障がい者及びその家族等の不安解消、生活の利便を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
障害者相談支援事業所開所日数	日	3,090	3,091	3,063	3,100	3,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	障害者相談件数	件	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	740	921	1,258		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談目標件数 1,000 件に対し、1,258 件であり、目標値を達成できた。							(達成度) 125.8%
		 (達成度) 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	94,851	93,829	133,849	103,480
（事業費）	〔円〕	85,791	85,597	124,817	94,448
（職員人件費）	〔円〕	9,060	8,232	9,032	9,032

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 障がいに係る専門的な相談窓口は需要は多く、今後も必要な事業である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後、さらに相談支援を充実させる必要があるため、当面の間は、事業者等と協議しながら、より効果の高い相談体制の構築に努める。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者権利擁護事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	判断能力が不十分な障がい者等の権利擁護を推進するため、法定後見制度である市長による後見等開始審判請求が妥当であるものについて家庭裁判所に審判請求を行うとともに、必要な費用を負担し、後見人等が行った援助活動等に対しての報酬支払いができない者に助成を行います。 また、障がい者の権利擁護のため、障がい者虐待の防止や養護者に対する支援等を行います。				
6年度概要	成年後見人制度利用事業 障害者虐待防止対策事業 障害者差別解消推進事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	市内在住の障がい者等で判断能力が不十分な方
意図（どのような状態にしたいか）	市内在住の障がい者等で、判断能力が不十分な人について、障害者虐待防止法に基づく措置や、成年後見人制度の利用促進を図る等により、権利擁護を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成年後見市長申立件数	件	5	7	5	7	12

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成年後見人申立決定人数	人	目標値	12	12	12	7	12
		実績値	4	7	7		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 成年後見制度の認知拡大に伴い問合せは増加したが、市長申立件数及び決定人数は、目標数に達しなかった。 （目標達成度） （達成度） 58.3% 20点							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度） （達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	16,300	16,436	18,649	20,670
（事業費）	〔円〕	3,465	3,713	5,853	7,874
（職員人件費）	〔円〕	12,835	12,723	12,796	12,796

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
成年後見制度の認知が進んだことに伴い、問合せは増加したが、申立件数及び決定人数は、目標には達しなかった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、法令・要綱に基づき適正に事務を行うとともに、虐待防止・差別解消・成年後見制度の利用促進に努める。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者手帳交付事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障害福祉サービス等を提供することにより、自立支援を図るため、障がいのある方からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付を行います。とができない在宅の重度の身体障がい有する市民に対し、身体障害者手帳交付申請時に必要な審査を行うため、医師の派遣を行います。				
6年度概要	手帳交付等事務費 障害者診断書作成料助成事業 在宅重度障害者訪問診査事務費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	住民票が高松市内にあり、身体や精神に障がいがある方				
意図（どのような状態にしたいか）	身体や精神に障がいを持つ市民に対し、障害者手帳を発行することにより、内容に応じた福祉サービスを受けてもらうことで、障がい者福祉の向上を図る。				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
身体障害者手帳交付件数	件	2,078	1,946	1,970	2,100	2,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	サービス提供による決算額	千円	目標値	66,520	70,251	77,943	132,603	77,943
			実績値	65,605	70,976	82,415		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） おおむね目標値どおりの結果となった。	（目標達成度）  （達成度） 105.7% 35点							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
		目標値						
		実績値						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度） （達成度）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔千円〕	94,834	165,851	221,257	150,779
（事業費）	〔千円〕	76,714	147,889	203,192	132,714
（職員人件費）	〔千円〕	18,120	17,962	18,065	18,065

【評価】

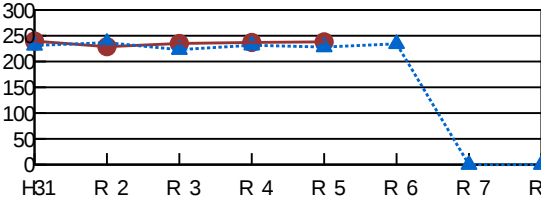
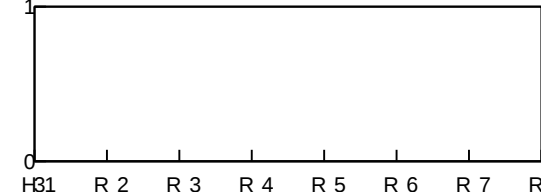
評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
身体障害者福祉法等に基づいて適正に事務を行った結果、概ね目標どおりであった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、身体障害者福祉法等に基づいて市が実施する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者医療費助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】					
事業の概要	障がい者の医療費に係る経済的な負担を軽減し、障がい者の保健の向上や福祉の増進を図るため、障がい者の医療費（保険診療の自己負担額（高額療養費及び入院時食事（生活）療養費に係る標準負担額は除く。））の全部又は一部を助成します。				
	障害者医療費助成事業				
6年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市に住所があり、身体障害者手帳（１～４級）・療育手帳・戦傷病者手帳（特別～第７項症）のいずれかの手帳を所持し、健康保険証に記載され、生活保護を受けていない人（年齢制限・所得制限あり）。
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の医療費に係る経済的な負担の軽減を図る。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
助成件数		件	307,688	302,575	291,372	298,648

【事業の成果】							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	中期目標 R 5
	受診率		%	目標値	223.02	231.52	228.09
				実績値	235	237	238.13
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） おおむね目標を達成した。 		(目標達成度)		 （達成度） 104.4% 35点		
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	中期目標 R 5
				目標値			
				実績値			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)				 （達成度）		

【コストの推移】					
指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,572,775	1,525,166	1,515,467	1,505,655
（事業費）	〔円〕	1,542,575	1,495,230	1,485,359	1,475,547
（職員人件費）	〔円〕	30,200	29,936	30,108	30,108

【評価】			
評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） おおむね目標値どおりとなった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 障がい者の医療費は、より高額になる傾向にあるため、障がい者の負担軽減を目的に、事業を継続する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害児放課後支援事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	障がい児の健全な育成を図るため、養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても就労等により保護者の監護を受けられない児童に対して、放課後児童会を開設し、監護及び遊びの場を提供します。				
6年度概要	放課後児童会の開設（2箇所）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

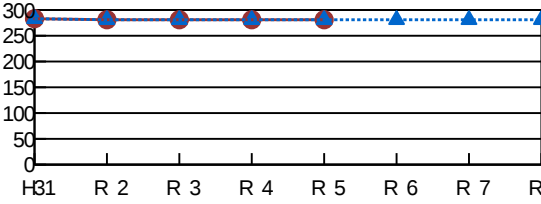
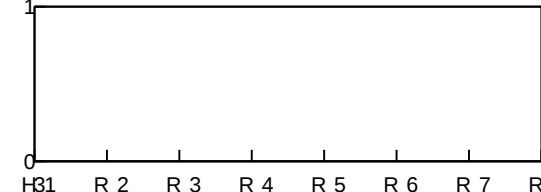
【事業の目的】

対象（何を）	養護学校に通う児童
意図（どのような状態にしたいか）	帰宅しても保護者の就労等のため、その監護を受けられない障害児に対して、適切な遊び及び生活の場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
放課後児童会開設場所	数	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	放課後支援事業利用日数	日	目標値	281	281	281	281	281
			実績値	281	281	281		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 利用日数目標 281 日に対し、281 日であり目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	18,951	19,182	16,724	20,773
（事業費）	〔円〕	18,196	18,434	15,971	20,020
（職員人件費）	〔円〕	755	748	753	753

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 身体障害児及び知的障害児に対する放課後児童クラブを運営し、保護者と児童の日常生活の向上に大きく貢献した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 近年、民間の支援サービスも充実してきており、選択肢の一つとして利用者の利便性に合致した柔軟な対応に努める。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者就労支援促進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行います。				
6年度概要	空き店舗を活用した「障がい者就労の場」を開設する事業者等への支援（継続店舗 1） 公共施設内の「障がい者就労訓練の場」開設支援（就労訓練参加事業所 5）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	内部管理事務

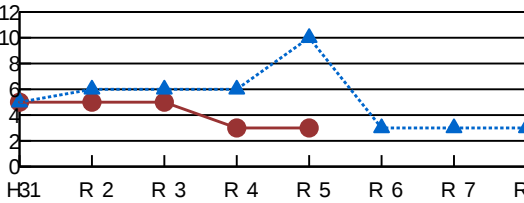
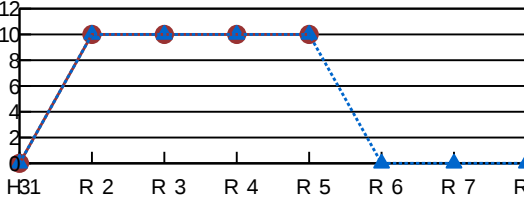
【事業の目的】

対象（何を）	一般就労を目指す障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	一般就労を目指す障がい者の雇用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
「障がい者就労の場」店舗数	店舗	1	1	1	1	2

【事業の成果】

【事業の成果】		成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
成果指標	雇用契約をした障がい者数			人	目標値	6	6	10	3	10	
					実績値	5	3	3			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 既存の事業者においては、年間を通して継続的な雇用ができたものの、新たな店舗開設はできておらず、目標を達成することができなかった。			(目標達成度)							(達成度) 30.0%
											10点
		成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
成果指標	「障がい者就労支援促進事業」における就労者数及び訓練者数			人	目標値	10	10	10	0	10	
					実績値	10	10	10			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 就労訓練生の受入れについては、継続的に実施することができた。			(目標達成度)							(達成度) 100.0%
											35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	13,664	12,642	12,685	12,685
（事業費）	〔円〕	6,114	5,158	5,158	5,158
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 「たかまつ障がい者プラン」において本事業を位置付けて実施しているが、商店街における新たな店舗開設は難しい状況となっている。市役所内就労の場提供事業は、引き続き、障がい者の社会就労支援に詳しいNPO法人に事業を委託することにより、効率的に実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 障がいのある方の就労促進と社会的、経済的な自立促進を図るため、中央商店街の空き店舗で障がい者を雇用し、事業を行う事業者等への支援を始め、更に知的障がい者・精神障がい者等の一般就労へ向けた支援を行う。			

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	
	基本事業	障がい者の自立支援の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者地域生活支援推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、障がい福祉サービス事業所と連携ネットワークを構築するなど、地域支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を強化し、様々な支援を切れ目なく提供します。				
6年度概要	中核拠点・地域拠点委託料 緊急時受入先確保事業 合理的配慮の提供支援助成金 建物建設経費一部負担金 コスモス園運営委託				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

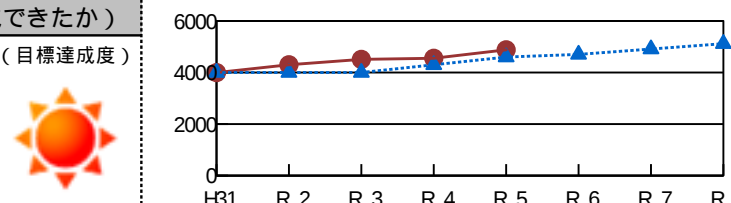
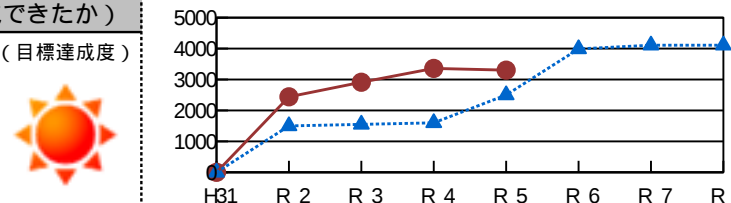
【事業の目的】

対象（何を）	障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できるサービスを提供し、また、合理的配慮の提供に要する費用の一部を助成するなど、地域生活への移行や定着を支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
基幹相談支援センター相談件数（中核拠点）	件	1,040	1,222	1,183	1,310	660

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	障害者福祉サービス利用者数	人	目標値	4,000	4,300	4,600	4,700	4,600
			実績値	4,510	4,553	4,881		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談支援を通じて適切な障害福祉サービスの利用につながったことで、福祉サービス利用者数は増加し、目標を達成できた。	 (達成度) 106.1% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	基幹相談支援センター相談件数	件	目標値	1,550	1,600	2,500	3,989	2,500
			実績値	2,912	3,359	3,303		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地域における相談支援体制の中核的な役割を果たす機関として機能しており、目標を達成できた。	 (達成度) 132.1% 35点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	117,938	118,182	154,145	125,803
（事業費）	〔円〕	110,388	110,698	146,618	118,276
（職員人件費）	〔円〕	7,550	7,484	7,527	7,527

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
重層化支援体制整備事業（令和4年度～）の趣旨を踏まえ、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行っている。 民間事業者に対する合理的配慮提供の義務化に伴い、助成事業を含めた周知啓発に努めている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活への移行や定着を支援するため、基幹相談支援センター（中核拠点及び地域拠点）及びコスモス園の効率的な運営を行う。			